

第 45 号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

＝日資連界報＝

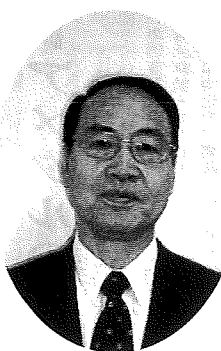
日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03 (3263) 9101
発行人 紺野武郎
編集人 星本昭次
印刷 株式会社資源新報社

新たなスタートラインに

悲願の経済産業省本省認可可成る

この度日資連は、経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課を原局とする全国組織団体として十二月十日付で正式に認可して頂きました。本省認可獲得の悲願が、三十七年目にしてついに達成されたこととなります。リサイクル推進課の横

山課長様はじめ全国中小企業団体中央会等内外の多くの方々に長年に亘り賜りましたご厚情ご支援に對しまして心から感謝申し上げます。日資連が本格的に組織の改革と拡充として本省認可の取得運動に乗り出した原点は、平成十五年



SP委員会の答申案を受けて、同年十二月にはSP委員会の団結を引き継いだプロジェクトNが立ち上がり、日資連としての新たな掲げられた理念に基づき組織の改革と拡充を果行に移すことになりました。プロジェクト

トNのチームワークによって「情報伝達の迅速化」「財政の健全化」「再生資源回収事業者認定制度」「日資連リサイクル化証明書発行」と、SP委員会が描いた大きな夢が実現し、この度の本省認可へと繋がりました。プロジェクトNが達成した功績の中で、特に

20年度研修会を開催

鉄スツウの現状と動向テーマに

日資連研修会は、昨年に続き本年も全国中小企業団体中央会補助事業として、定員一〇〇名の受講者を満了して開催されました。

業会の中社長様に講師としてご登壇を頂き、内外の貴重な資料データを得たものと確信致します。その分析と関連情

「全国中小企業団体中央会」の活路開拓調査実現事業として支援して頂いた「自主認定制度」とリサイクル化証明書の普及」そして「全国都道府県正会員加入促進状況」は、既存の広域組織団体が衰退の一途を辿っている時代に、管理体制の充実し、制度で自らを律し、組織拡充を進めているとして関係省庁の高い評価を頂きました。

我が国が構築する持続可能な資源循環型社会への3R政策に、必要不可欠からざる業界と認定して

新会長に上岡(群馬)氏

関資連年次総会を盛大に開催

去る九月十四日(月)

部体制が決定した。上岡新会長からは以下

栃木県リサイクル協同組合連合会の設置で関資連の年次総会が鬼怒川のあさやホテルで開催された。今回の講話は、鉄スクラップを中心とした世界的動向・現状分析・方向性などの講演を頂き、翌日は高炉施設の見学と言った誠にタイムリーな研修会と公私共にご多用な中、三井物産メタルズ(株)の東

仲社長様、経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課の横山課長様、(社)日本鉄リサイクル工

「全国中小企業団体中央会」の活路開拓調査実現事業として支援して頂いた「自主認定制度」とリサイクル化証明書の普及」そして「全国都道府県正会員加入促進状況」は、既存の広域組織団体が衰退の一途を辿っている時代に、管理体制の充実し、制度で自らを律し、組織拡充を進めているとして関係省庁の高い評価を頂きました。



今回の研修会が、会員各位の営業方針に活かされ、日資連の事業活動に寄与されんことを祈り、(講演概要は二面に掲載)

報から今後予想される業界環境と進むべき方向性などを含み次のようなご提示を頂きました。

○世界の政治経済社会問題さらには環境問題と複雑なファクターが神経質に絡み合う市況メカニズムとその読み方

日資連研修会講演より抜粋

ラップの海外市況と将来性

東仲富彦講師(三井物産メタルズ(株)代表取締役)

十一月三日から四日にかけて神奈川県で行われた日資連研修会。

初日には東仲富彦氏を講師にお招きし、「ラップの海外市況および将来性」をテーマに講演いただいた。

東仲氏は本年四月に三井物産金属原料(株)と三井物産非鉄販売(株)が合併・統合し誕生した「三井物産メタルズ株式会社」の代表取締役社長として精力的に活躍されている。

レアメタルの世界的動向

横山典弘講師(経済産業省リサイクル推進課課長)

わが国3R政策の現状と展望(レアメタルの世界的動向について)講義いただきました。

理由の一つにベトナム以外のプラスチックごみのリサイクルが進まない事に問題がある。

最終処分場の容量が一般廃棄物で約一三・二年、産業廃棄物で約六・一年、リサイクル法の更なる

整備と有価、無価を問わずリユース・リサイクルできる有用なものを「循環資源」と定義づけ、品目別のリサイクルガイドラインの今後の取り組みを強力に推進していく事が大切ではないか。

また、希少金属の埋蔵量は数十年で掘りつくされるのではないかと云われる資源も少なくない。都市鉱山とも言われている携帯電話等に使われているレアメタルの回収システムの確立も、希少資源のリサイクルに大変重要な取り組みである。今後携帯電話の回収も義務付けを考えていくことである。

私たちが取り組む「循環資源」金属屑の流通価格が大きく変動する今日、相場の価格変動に末端の回収事業者が混乱をする

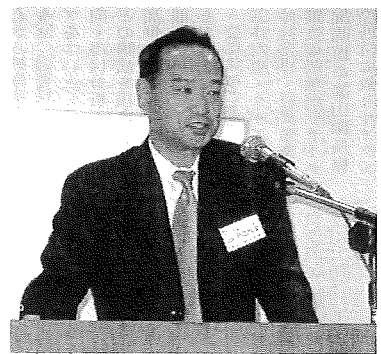
ラップの需給予測と将来性

中辻恒文講師(社)日本鉄リサイクル工業会(会長)

八月と十月に大暴落をした鉄スクラップどんな話になるのか誰も

最大の興味を示した講義だと思いが、講演する側は「えらい時期に引き受

けた」と言及しおっしゃる程偉い時期だったのは確かである。



中辻恒文氏(社)日本鉄リサイクル工業会会長

米国のサブプライムローン、金融経済の縮小、実質経済への影響、そして鉄スクラップの暴落、シナリオは解っているつもりなのだが実際のアメリカや東南アジア諸国の経済情勢をマスコミからの情報に頼っている私には米国の自動車産業の現実などを体験として語られる中辻会長から目が離せなかった。

会長は講演の中で「スクラップ価格が五万円を越えたとき皆さん危ないと思ったでしょ。」確かにこれは危ないという感じがしてはいた。その後の暴落についても業界的には冷静に受け止めたのも事実であり、確かに行政等の契約物ではトラブルもありましたが、過去における価格暴落とは何が違った。

需給予測では国内メーカーや湾岸に積まれたスクラップが一巡すれば行

き過ぎた低価格は解消するとの予想であったが、確かに研修会直後にトルコの輸出契約が発売されるとうきに値上げが行われた。

今回の研修で私はもっとと深いところにある情報分析の大切さを知りました。

最後に中辻会長有難うございました。次の機会を楽しみにしています。

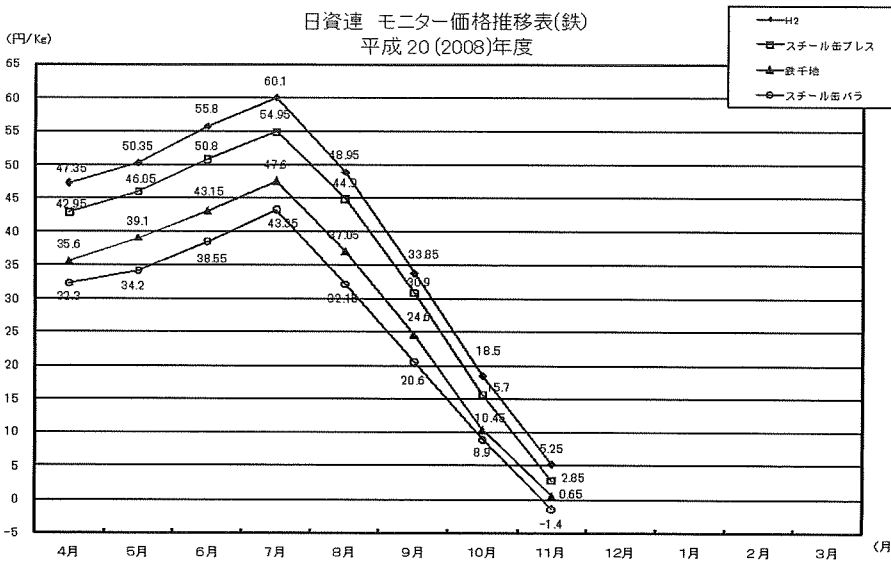
11月度モニター集計より抜粋(鉄スクラップ価格推移)

平成二十年十一月モニターに二十六地域より回答を頂きました。紙面都合上、価格推移表(鉄のみ)掲載いたします。その他の各目的の平均値(対十月比)は以下通りです(単位円/kg)。
【非鉄】◎アルミ缶プレス 二・四 ◎ダボロ 三・三
【鉄】◎アルミ缶プレス 二・四 ◎ダボロ 三・三

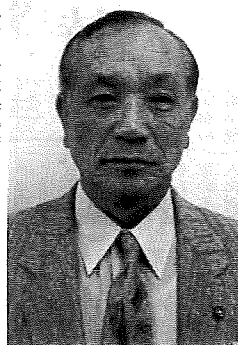
平成20年度 日本再生資源事業協同組合連合会 研修会 全国中小企業団体中央会補助事業



講演に先立ち挨拶する細野会長



上岡克己
関東資源回収組合連合会
会長



まだに精神的な整理も出ていないという状態で、多くの先輩の方々が残された功績を汚さないように、更に、立派な関連資連を創り上げて行くために、全力を挙げて努力したいと考えております。

北京オリンピックを終

そのような状況の下、関連連の組織体制の拡充強化と関連業界との更なる連携を取り、国や地方自治体によって働きかけることが必要であると考えております。

日資連の中核組織として連携体制を堅持しながら関係団体とのコミュニケーションを現状以上に図り充実した活動を行っていき「持続可能な資源循環型社会」の構築に向けて邁進する考えです。皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

経済に追い打ちをかけるように、米大手証券会社のリーマン・ショックによって、世界的な大恐慌を引き起し、その影響は再生資源業界にも及び、今後の価格維持が困難と予想されております。

好循環を造るもの」と信じ、関与連の存在価値を役割をつかり捉え、業界基盤を強化し、若手責成と魅力ある業界づくり、そして、環境を良くする活動が、環境の発展に繋がり、経済の発展に及ぼる環境保全に繋がるもの」と信じ、

埼玉協が創立五十周年式典



細田理事長

埼玉県再生資源事業協
同組合では、十一月三十
日に埼玉県さいたま市中
央区新都心の「ラフレさ
いたま」において創立五
十周年記念式典を盛大に
開催した。

式典では、新藤武次実
行委員長の挨拶に続き、
細田益弘理事長が、関係



細田理事長

合連者、出席者の御意、按合運賃の方向について検討を行われた。来賓を代表して上田清司埼玉県知事、河野行かれた。功勞者に対する表彰がこれに続いて行われた。

このあと高橋征夫を講師に招き、「新時代に相応しい改革」との演題で記念講演が行われ、好評で博した。

講演会終了後には、祝賀会が開催された。細田

細田理事長挨拶

益弘理事長の挨拶に続き、

埼玉県再生資源事業協同組合は昭和三十三年四月に沼田理事長が組合設立準備を始め昭和三十四年九月に総員百八十一名で埼玉県資源回収商業組合として産声をあげて以来時の情勢に対応しながら事業を行ってまいりました。

昭和六十年七月に埼玉県再生資源事業協同組合に名称を変更し、広報・福利厚生・業務・労務・財務・市況対策の委員会のはか鉄屑部会・集団回収業務部会の各部会で構成しており、その活動状況は拡大理事会及び広報を通じて組員に情報を提供し、組織の強化を図りながら各事業を積極的に実施し、組合発展に全力を注いでまいりました。

平成四年にははからずとも埼玉県中小企業団体中



パブリックコメント実施

環境省が、グリーン購入法に係わる特定調製品目及びその判断の基準等の見直しの概要(案)に対する意見を募集している。

紙について、本年一月に古紙偽造問題の発覚を受け、環境省は、各製紙会社に対して再発防止と環境保護対策の指示及び現行基準を満足するコピー用紙の生産を要請。この要請に対し各製紙会社は現行基準を満了する製品供給を実現、政府機関は基準を満足する製品の調達を行っている。他方、地方公共団体・民間事業者・国民の皆様には、環境に優しいコピー用紙を購入し十分に使うという強い要請がなされているが現状、また、地球規模の森林減少が急激に進んでいることなど、持続可能な森林経営への取組は、必ずしも順調には進んでいない。これらの取組を木材の需要面の強化を通じて推進していく必要がある。

そこで「コピー用紙の原料」として古紙を引き続き最優先で利用し、各針は堅持して、環境に優しいパルプの供給力、各製紙会社の環境配慮への技術力及び消費者が求める紙の品質に応じて古紙に加え、森林認証材、間伐材、未利用材等、環境に配慮した原料についても限定的に利用するこのことができ、さらに、環境配慮の指標である白色度及び坪量（紙の単位面積当たりの重量）を加えた総合評価指標の導入を検討。そして、この総合評価指標の計算式に、各指標の数値を代入して算出。一定以上のポイントを獲得した製品が基準を満たす製品とみなすことを提案する。こうした「コピー用紙に係わる判断の基準の見直し案をはじめ、約

http://www.env.go.jp/info/iken.html

う業界として又、この大きな節目を新たな出発点としてより積極的に協力し、業界環境の變動と組合員の商權擁護の要のために今後とも組織の団結を英知を結集し、総力をあげて發展と向上に邁進する所存であります。

今日、組合創立五十周年の節目を迎えることができますことは関係各位並に致します。

びに先輩各位の並々ならぬご努力の積み重ねのおかげと衷心より厚く御礼申し上げますと共に、今後とも倍旧のご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びにあたり、関係並びに組合各位の益のご健勝とご發展を心から祈念致しまして挨拶を致します。



「結婚おめでとうございます」

九月二十八日 ホテルトロピカルタンエドモント
において日資連事務局の中西幸子さんが日資連
会長の紺野武郎ご夫妻をご媒人として結婚祝
披露宴を行いました。気になるお相手は東京都
資源回収事業協同組合青年部の千葉靖志さん
お二人の人物を思わせる明るく楽しい披露宴な
りでした。永らくお幸せに！

段ボールのリサイクルは
次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後とも
リサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ
(<http://www.danrikyo.jp>)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(全国段ボール工業組合連合会内)
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101

世田谷区 持ち去りで刑事告発 有罪確定後も違反行為止めず

ごみ集積所などからの古紙の持ち去り行為が後を絶たない。区清掃・リサイクル条例違反にあたるとして、さきの最高裁判決で有罪が確定しているにもかかわらず、その後も同様に持ち去り行為を繰り返している。

世田谷区によると、三人は十一月十三日から二十五日に区のごみ集積所にトラックで乗り付け、

住民から資源ごみとして出された古紙を勝手に持ち去るなどした。区ではこれまで三回にわたって同条例に基づき禁止命令をそれぞれ複数回出していたが、区の禁止命令に従わず持ち去り行為のやむことはなかった。

たことなどから、今回の刑事告発に踏み切ったもの。世田谷区では、空き缶や古紙など資源ごみの集積所からの持ち去りを条例で禁止しており、違反者には二十万円以下の罰金という罰則を設けている。この条例に基づいて区では二〇〇四年七月から翌一年にかけて古紙回収業者など十数人を告発している。

部は無罪判決が出されるなどしたが、その後の高裁、最高裁で全員に有罪判決が出され、罰金刑が確定したといった経緯がある。今回の件について熊本哲之世田谷区長は、「資源の持ち去り行為については区民からの取締りの強い要望がある。区としては引き続き適正に対処していきたい」とコメントしている。

編集後記

日資連の本省認可が決まった。長年の夢は永遠の夢に終わるのかと思っていたが喜ばしいことだ。歴代の会長と役員の方々の喜びも一人であらう。一方、資源価格の下落は暴落はすさまじいものとなった。台風と地震が同時にやって来たようなものだ。強風に立ち向かうようにと踏ん張った足元がグラグラ揺れている。雨も

体全体を濡らして行く。こんな時にだからこそ仲間を助け合い、協力、力を高め乗り切って行こう。

今年こそは年内にもう一号【あすれっく】を発行しようと思案委員一同決起し今号が出来た。喜びにも悲しみにもタイムリーな号になってしまった。(S・K)

<速報> 再生資源価格急落・国内在庫急増中！

日頃、日本再生資源事業協同組合連合会（日資連）の活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、此の度の米国金融不安に端を発した世界同時不況などで、再生資源の国際需給も完全に冷え込み、国内においても価格暴落や入荷制限などの事態が生じています。ここに取り急ぎ速報として現状をお知らせ申し上げます。

鉄スクラップ・非鉄金属・ペットボトル・廃プラスチックなどは、ここ3ヶ月程で大暴落致しました。H2（特級鉄スクラップ）で見ると、7月にはトン当たり7万円以上に高騰しましたが、その後下げ続け、現在1万円前後に暴落しています。

下級鉄スクラップは、すでに逆有償になった地域もあり、輸出入荷用の船積ヤードを筆頭に全国の鉄スクラップヤードに膨大な在庫の山が出来ています。

銅・アルミ・ステンレスなどの非鉄金属屑も殆どが高値時より3分の1程度に下落してなかなか底が見えない状況にあります。

古紙類は10月後半に入ってから、輸出価格がトン当たり2万円台から4分の1への下落でストップ安状態となり、輸出自体成約できなくなり、国内製紙メーカー各社も2割以上の入荷制限をしてみました。

このような状況が長引くと、回収した資源の在庫が間違いなく国内に溢れ、平成8年頃の大量剰化状態をさらに上回って、逆有償回収や逆ザヤでの古紙輸出したあの悪夢が再来するのではと予想されます。

再生資源の回収団体としての受け皿機能も担っている日資連としては、回収した資源のごみ化を防ぐ最大限の努力をしていますが、取引各位様との契約内容の価格変更をはじめとして在庫の保管対策やさらには逆有償回収にも踏み込まなければならない状況も勘案されます。

つきましては、現状をご賢察の上今後とも倍旧のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

日本再生資源事業協同組合連合会

東京都千代田区三崎町2-21-1

東京資源会館5階

TEL: 03-3263-9101

日資連ホームページへの広告掲載企業を募集します

日資連では平成二十一年度よりホームページに広告を掲載いただく協賛企業を募集する計画をしております。日資連は現在、会を挙げて「日資連再生資源回収事業者認定制度」「リサイクル化証明書」の運営を核に本省認可を頂いた経済産業省や環境省と共に持続可能な資源循環型社会構築に向けて邁進しております。また、超党派国会議員で組織された「リサイクルシステム議員懇談会」にも発足時より主要メンバーとして参加しております。ホームページへのアクセス数も年々増加しており、関係各方面の方々からの当連合会の事業全般に関し、幅広くお問合せが急増している状況にあります。

新年度からホームページの大幅なリニューアルを行っていくこととし、それを機に、新規事業として協賛企業の広告の掲載をお願いすることに致しました。われわれの活動の趣旨にご賛同いただき、是非広告媒体としてご活用下さいますようお願い申し上げます。

なお、広告掲載の詳細につきましては、各都道府県の日資連加盟組合および本部事務局へお問合せいただけますようお願い申し上げます。

栃木県リサイクル協同組合連合会

会長 星本 昭次

〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町 257

TEL 028(652)0245・FAX 028(652)0736

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会

会長 熊倉 一夫

〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6
富士ビル5階A号室

TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

奈良県資源回収事業協同組合

理事長 山原文之

〒635-0095 奈良県大和高田市大中 106-2
経済会館6階

TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

群馬県再生資源事業協同組合連合会

会長 上岡 克己

〒371-0857 群馬県前橋市高井町 1-26-3

TEL 0272(53)7291・FAX 0272(54)6221

東京都資源回収事業協同組合

理事長 吉川 太郎

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-21-1

TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

岡山県資源リサイクル事業協同組合連合会

会長 平林 久一

〒700-0973 岡山県岡山市下中野 347-104
ヒラキンビル内

TEL 086(246)0011・FAX 086(246)1100

埼玉県再生資源事業協同組合

理事長 細田 益弘

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 2-156-1
エクセルハイム103

TEL 048(607)7401・FAX 048(607)7402

神奈川県資源回収商業協同組合

理事長 小松 敏和

〒220-0023 神奈川県横浜市中区平沼 1-40-17
モンテベルデ横浜 311号室

TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

日本再生資源事業協同組合連合会

広告掲載のお願い！

本紙への掲載広告を募集しています。
詳しくは事務局にお尋ねください。